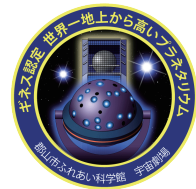


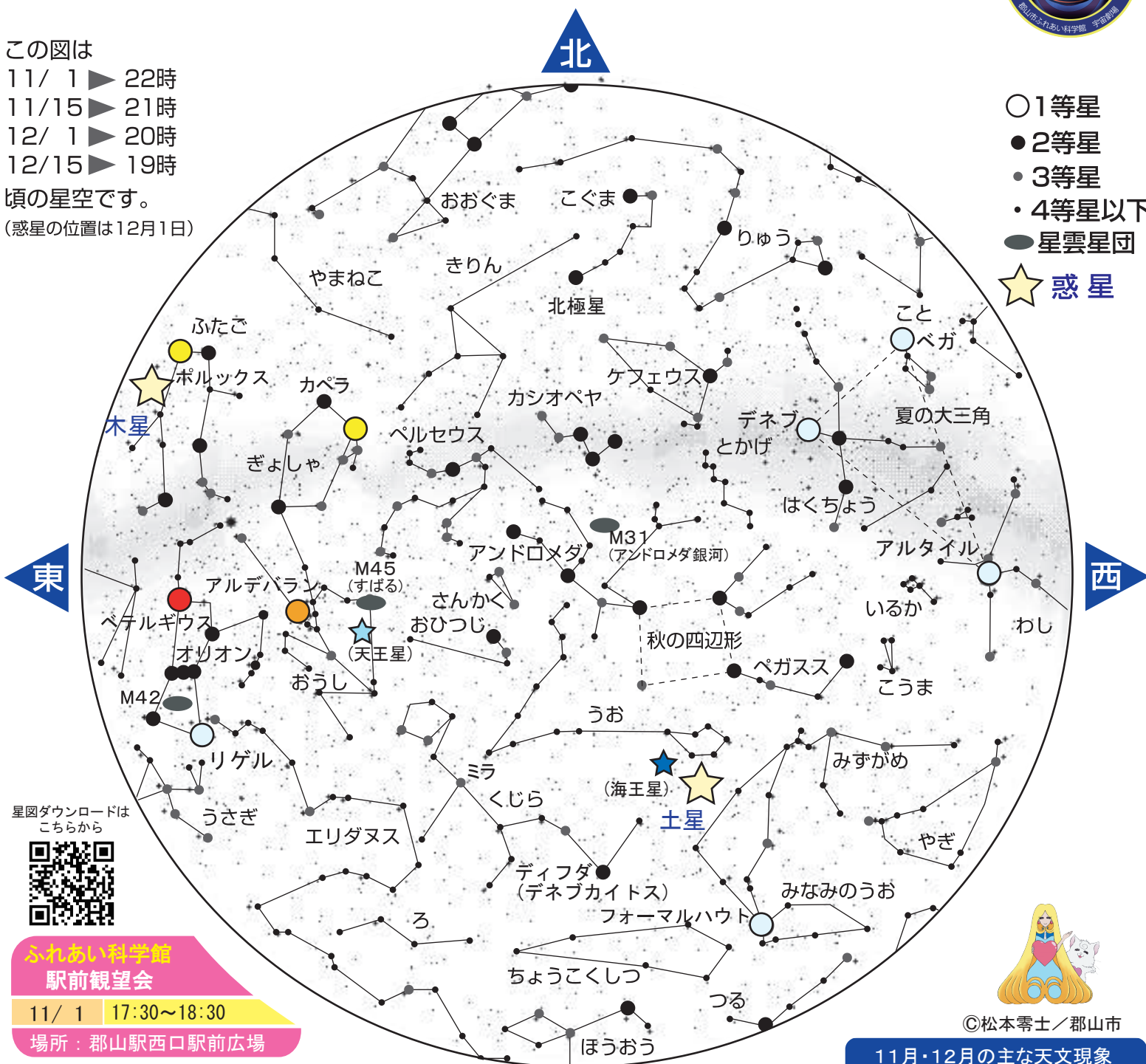
2025年

11月▶12月の星空



この図は
 11/ 1 ▶ 22時
 11/15 ▶ 21時
 12/ 1 ▶ 20時
 12/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は12月1日)

- 1等星
 ●2等星
 ●3等星
 ●4等星以下
 ●星雲星団
 ★惑星



星図ダウンロードは
 こちらから



ふれあい科学館
 駅前観望会

11/ 1 17:30~18:30

場所：郡山駅西口駅前広場



©松本零士／郡山市

南

観望会 場所：郡山駅西口駅前広場

土星観望会

11月29日 17:00~19:00

※悪天候時は中止となります。

11月・12月の主な天文現象

11/ 2	十三夜(後の月)
11/25	土星の環が極細に
12/14	ふたご座流星群が極大
12/22	冬至

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け		
11/ 1	6:00	16:44	新月	11/20, 12/20	
11/15	6:15	16:31	上弦	11/28, 12/28	
12/ 1	6:31	16:24	満月	11/ 5, 12/ 5	
12/15	6:42	16:25	下弦	11/12, 12/12	

※上弦、下弦は半月です。

※天王星、海王星は肉眼では見えません。

秋の目印「秋の四辺形」から目線を下ろしたところに土星が見えています。土星は大きな環が特徴で、地球から見たときの環の角度は毎年少しずつ変わります。15年に1度、環を真横から見るタイミングで「環の消失」が起こり、今年がその特別な年にあたります。環が完全に見えなくなるタイミングは3月と5月にそれぞれありましたが、土星が太陽に近いところにあつたため観察には適していない時期でした。この秋からは一晩中観察することができるようになっており、11月25日ごろは極細の環の姿を楽しむことができます。まるで串に刺さったお団子のような姿を望遠鏡でお楽しみください。科学館では11月29日に観望会を開催しますので、ぜひご参加ください。

三大流星群の一つである「ふたご座流星群」が12月14日に極大を迎えます。12月13日の夜から14日の明け方までと、14日夜から15日の明け方までの2夜は、普段よりも多くの流れ星が見られそうです。空の暗いところで観察した場合、ピークとなる14日21時ごろには1時間に30個ほどの流れ星が見られると予想されています。下弦を過ぎたやや細い月が昇ってきますが、月明かりの影響はあまりなく、好条件のもとで観察できそうです。空を広く見渡せる場所で観察するのがおすすめです。寒さが厳しい時期ですので、防寒対策をしっかりとって安全に楽しんでください。

